

自転車利用実態定点調査報告

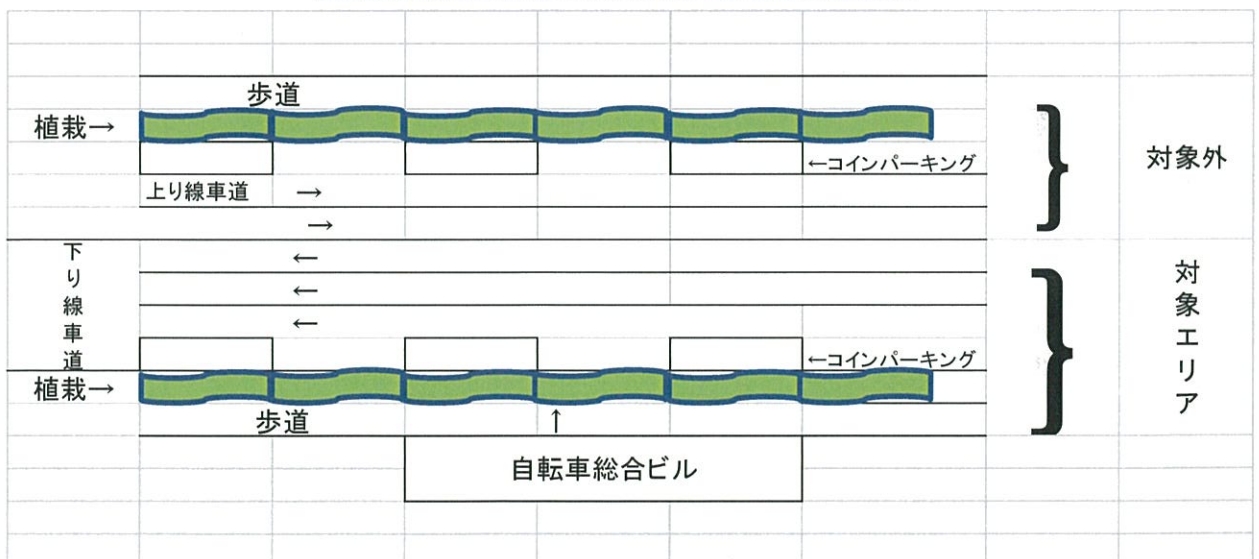
平成27年1月

(一財)日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成26年12月1日～25日
 [午前]9:00～10:00、 [午後]13:30～14:30

- 調査場所 概要**
- ・ 自転車総合ビル前（目黒駅方面に 50m 程緩い下り坂）
 - ・ 調査対象(車道線:目黒通り下り 3 車線[内側 1 車線駐車帯])
 (歩道:幅員 5m・植栽 1.5m～2mのため、実質通行幅 3m～3. 5m)
 - ・ 調査対象外(車道線:目黒通り上り 2 車線[内側 1 車線駐車帯]及び上り歩道)



調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票

No.	走行空間			車種		雨天		危険運転行為								
	歩道歩行	歩道自転車	歩道歩行	自転車	歩行	雨	雪	肩に荷物	ハンドルに荷物	片手運転	立ち漕ぎ	過重積載	ジグザグ運転	歩道上でのスピードの出しすぎ	子乗せ後部席に荷物	
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																

調査日時：平成 年 月 日()
天気： 気温： 湿度：
調査時間： ～

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、左側車道走行率は、6～44%と多岐にわたるが、平均すると 15%程度である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回も、全体の 8 割程度を占めている。同一地点（個別データ）においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(81 件)・ハンドルに荷物(61 件)・片手運転(53 件/内 5 件は、携帯電話を使用しながらの運転)・立ち漕ぎ(45 件)・過重積載(45 件)・ジグザグ運転(40 件)・歩道上でのスピードの出しすぎ(15 件)・子乗せ後部席に荷物(*1)(10 件)・等の順となっている。

*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

【総合】

今回は、平成 26 年度第 6 回目の調査となり、7～12 月分の半年期間で様々な点で比較してみた。

- ・利用者別 12月の冬季期間中であり、全体の利用者が減少した。
今回も、午前が午後の利用者を上回った。

- ・左側車道走行率 今回(15.1%)は、半年期間中では最下位で、8月(28.2%)・7月(25.3%)・9月(22.8%)・10月(21.2%)・11月(18.6%)・12月の順である。
さらに、午前でも、今回(15.6%)は、同様に、最下位で、8月(29.3%)・7月(28.7%)・9月(26.3%)・10月(22.7%)・11月(20.2%)・12月の順となっている。
また、午後も、同様に、今回(14.5%)が最下位で、8月(26.4%)・10月(20.1%)・7月(19.9%)・9月(19.8%)・11月(16.9%)・12月の順となっている。

- ・子乗せ自転車 今回(18.9%)は、半年期間中では4位で、11月(25%)・9月(24.4%)・10月(23.9%)・12月・7月(15.6%)・8月(15.4%)の順

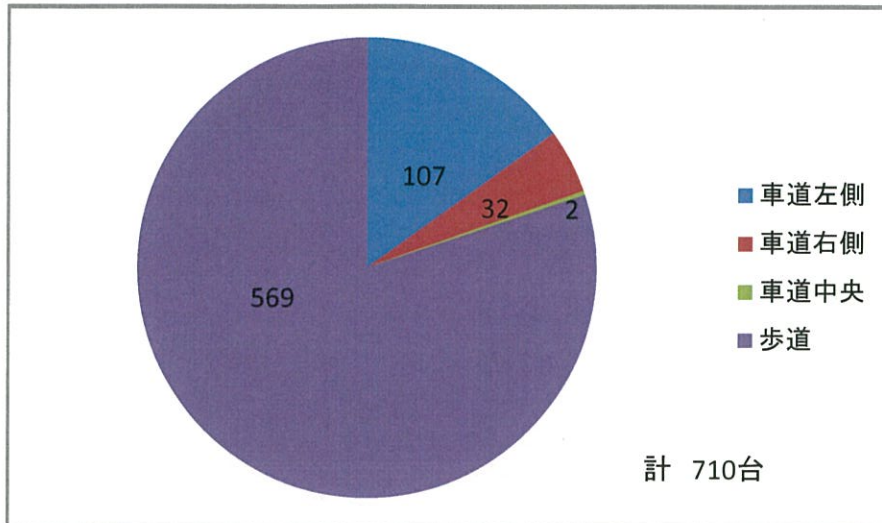
- ・電動自転車 今回(27%)は、半年期間中では最下位で、11月(40.1%)・9月(38.5%)・10月(37.3%)・8月(29.2%)・7月(27.8%)・12月の順

- ・危険運転行為
(違反行為を含む) 上位3件別では、今回は、[肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転]の順であり、半年期間の共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物である。
一方、下位3件別では、今回は、[子乗せ後部席に荷物・脇見運転・並列運転]の順であり、半年期間の共通項目は、脇見運転となっている。
なお、今回は、肩に荷物・ハンドルに荷物(基本的に一般車)だけで、全体の5割強近くを占める形となった。
(危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

- ・その他の危険運転行為 今回は、マフラー巻き、ベル鳴らし、背中に棒持ち等(全て歩道上)が発生した。

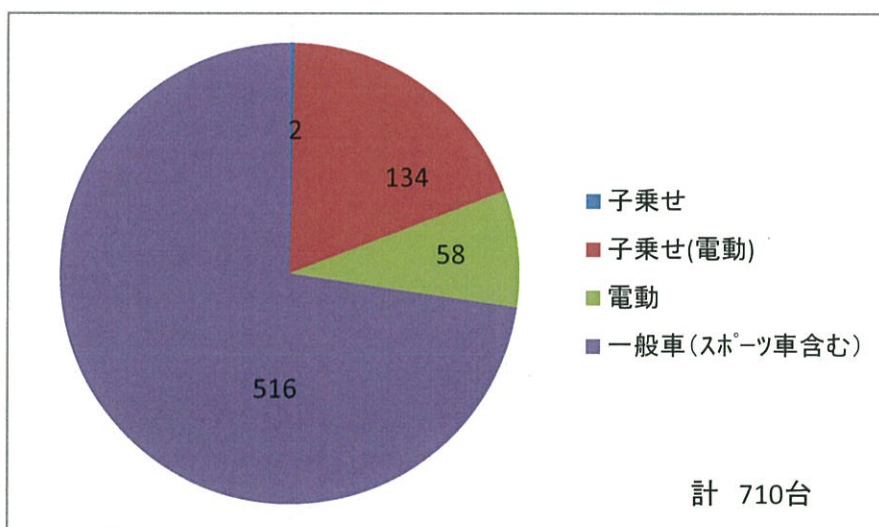
雨天時での調査は、今回は、4日間(12/1・4・11・16)であり、合羽着用者は、傘さし運転者の約1.8倍であった。

なお、12月1日の午前及び16日の午後は、大雨や強風のため、利用者が極端に少なかった。



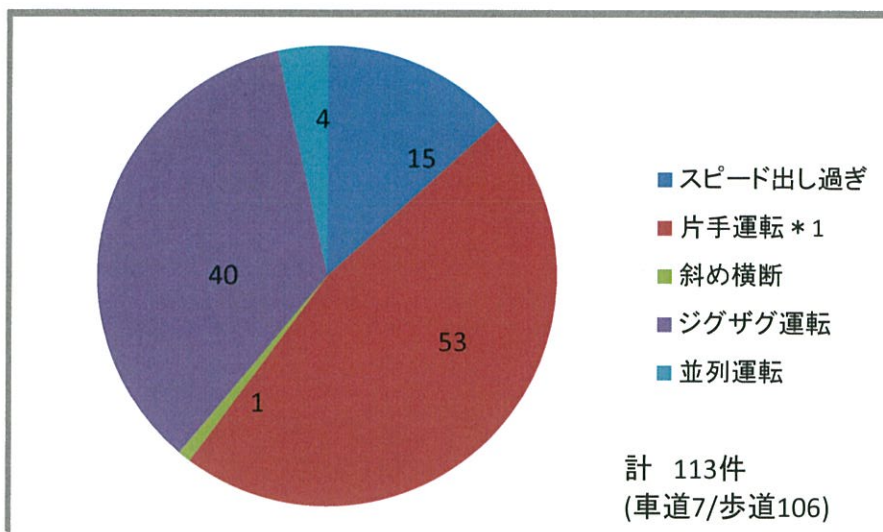
走行空間

調査期間 12/1～25



車種

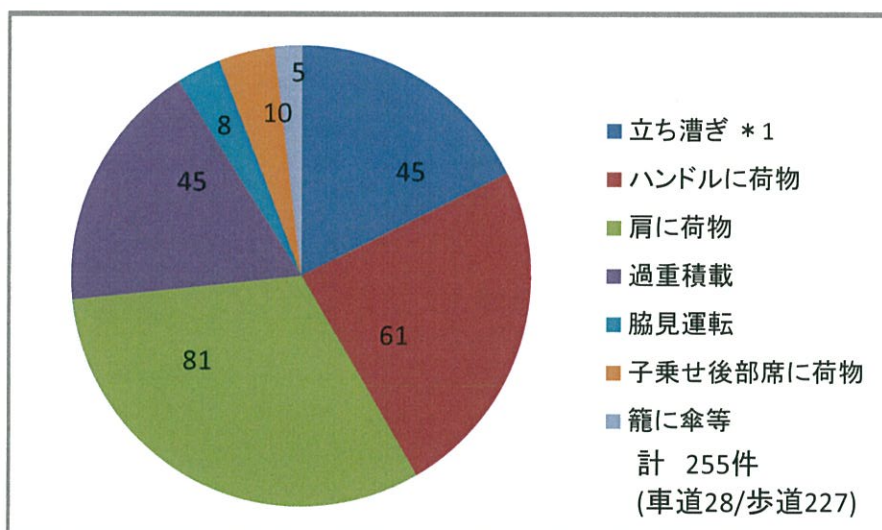
調査期間 12/1～25



違反運転行為

調査期間 12/1～25

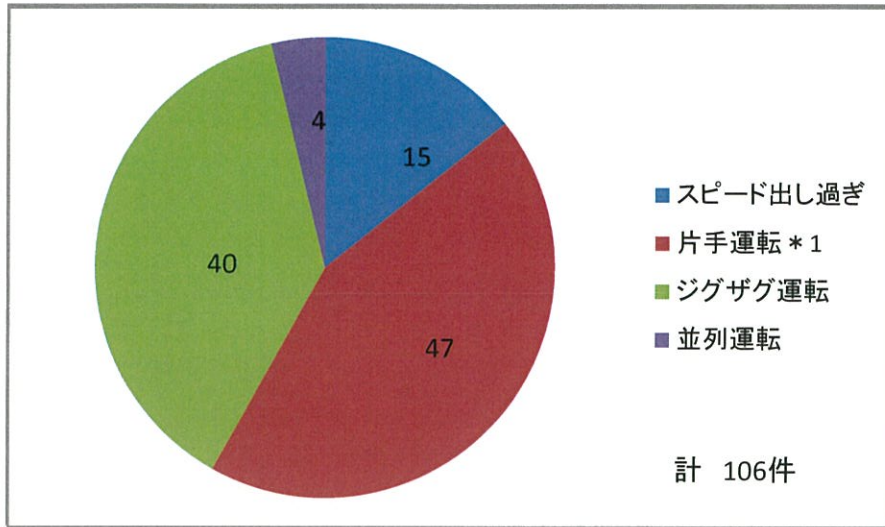
* 1 内5件 携帯電話を使用中の運転



危険運転行為

調査期間 12/1～25

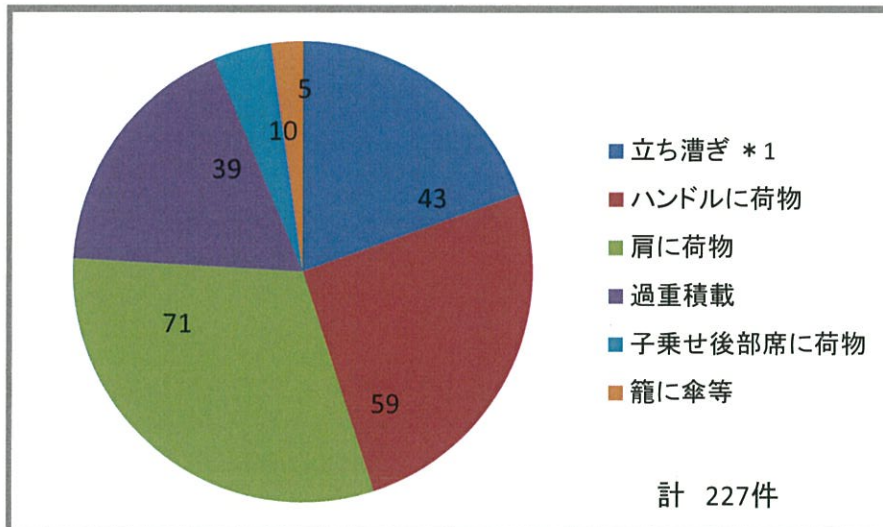
* 1 比率内訳: 上り坂33・下り坂12



違反運転行為
(歩道上)

調査期間 12/1~25

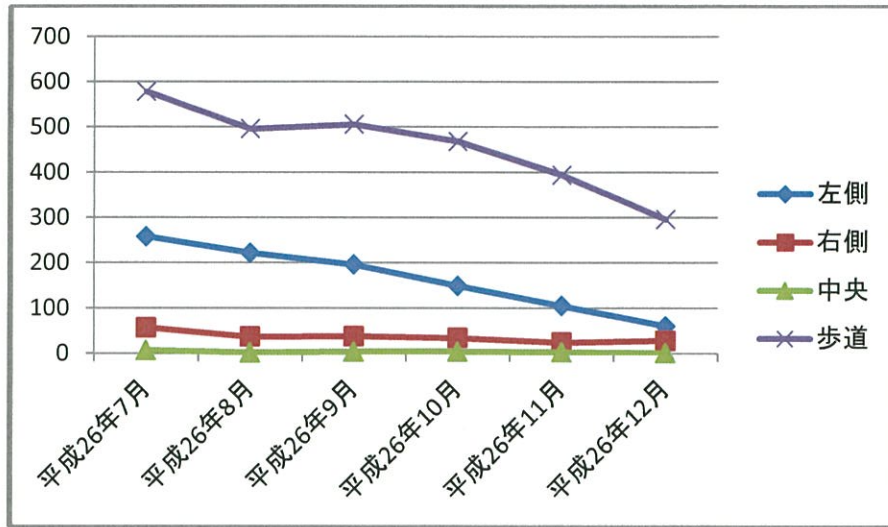
* 1 内5件 携帯電話を使用中の運転



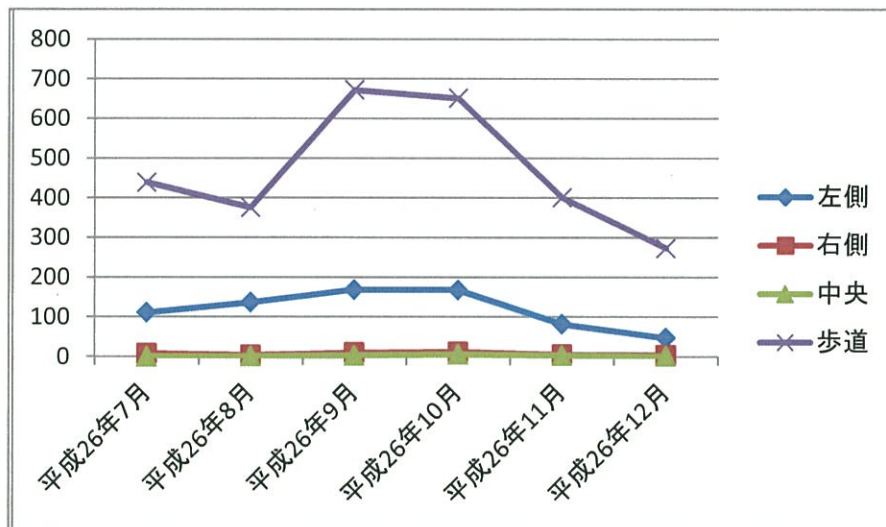
危険運転行為
(歩道上)

調査期間 12/1~25

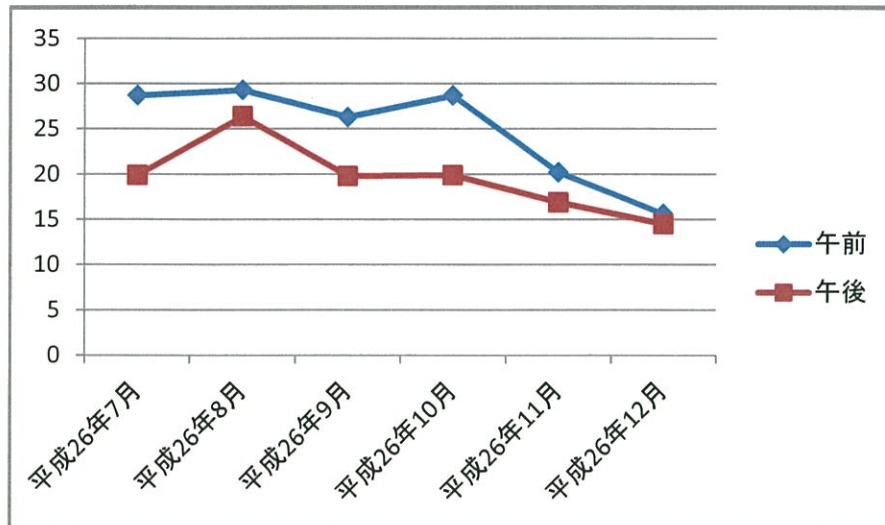
* 1 比率内訳: 上り坂33・下り坂10



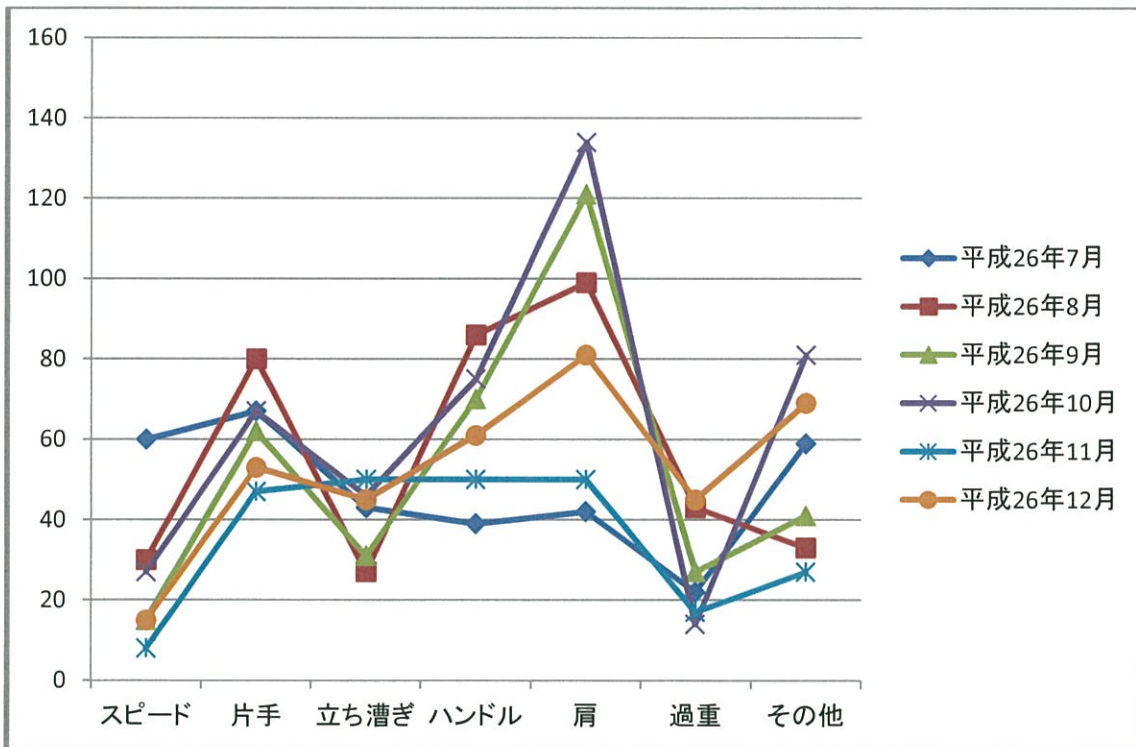
走行空間 午前 (台数)



走行空間 午後 (台数)



車道左側走行率 (%)



危険運転行為 (件数)